

# ながさき 県議会だより

## 3月定例会

### 令和8年3月定例会が開催され、活発な論議が交わされました。

令和8年3月定例会が3月11日から3月30日まで開かれました。

定例会初日は、3つの特別委員会から委員報告が行われた後、「離島・半島地域の振興対策に関する意見書」など3件の意見書を可決しました。

次に、各常任委員会及び議会運営委員会の構成を決定するとともに、離島・半島地域振興特別委員会、観光・新幹線対策特別委員会及び成長産業戦略特別委員会を設置し、その構成等を決定しました。

また、「令和8年度長崎県一般会計予算」などの議案が上程され、平田知事が県政の重要事項について報告し、当面する諸課題について所信を述べるとともに、関連する議案について提案理由の説明を行いました。

一般質問では、8名の議員が登壇し、知事の政治姿勢、産業振興、観光振興、福祉保健行政、教育行政、土木行政など、様々な事項について活発な論議が交わされたほか、常任委員会においても、予算議案等について活発な論議が交わされました。

本定例会では、令和8年度一般会計予算7,089億6,323万円を含む72件の議案を原案のとおり可決承認、同意するとともに、「長崎県議会議員の不信任決議」及び3件の意見書を可決し、閉会しました。

### 議長記者会見



3月30日、議長記者会見を開催し、外間雅広議長から、定例会を終えての所感、昨年7月の議長就任以降の議長としての活動、佐賀県議会や広島県議会との連携、大学生や高校生に対する主催者教育の取組等について挨拶、「ごまなみ副議長」から、円滑な議会運営や女性活躍の推進などについて抱負を交えた挨拶があり、その後、新年度予算への評価、九州新幹線西九州ルート整備、議長の不信任決議の可決などについて、記者からの質問に答えました。

#### 留学生支援について

山田 朋子 (佐世保市・北松浦郡/改革21)

【質問】知事は重要施策の一つとして、長崎県も若者未来ファンドを活用した支援を掲げているが、海外留学への支援制度を復活させてはどうか。

【答弁】高校生や大学生を対象に中国等への海外研修を行う、国際交流の機会を提供しているが、若者の好奇心や探究心を育み、主体的な挑戦につながるには、取組の一層の充実が必要である。今後は、県民のニーズを踏まえ、財源確保も含め新たな支援制度を検討し、意欲ある若者を後押しする環境づくりを進めてまいりたい。

#### 県営住宅の入居基準について

中村 俊介 (長崎市/自由民主党)

【質問】最低賃金引上げによる収入増が、入居要件に与える影響について、県の現状と認識は、また、それを踏まえ、収入基準について真の裁量による工夫をどのように検討しているか。

【答弁】国の家計調査等の試算の結果、低所得者の収入基準への影響はみられず、入居要件に改正の動きはないが、今後も国の動きを注視していく。県としては「子育て世帯」について、同居者の基準を小学校就学前から、高校世代まで引き上げる条例改正案を今定例会で提出している。

#### 県政運営について

近藤 智昭 (南松浦郡/自由民主党)

【質問】知事の責務は、県民の皆様の声をしっかりと受け止め、県民と共に長崎県を前に進めていくことであるため、今後の県政運営を進める中で、県内の首長との信頼関係を構築し、共に県政を進進させてまいりたい。

【答弁】知事の責務は、県民の皆様の声をしっかりと受け止め、県民と共に長崎県を前に進めていくことであるため、今後の県政運営を進める中で、県内の首長との信頼関係を構築し、共に県政を進進させてまいりたい。

#### 県政運営の基本的な考え方について

徳永 達也 (雲仙市/自由民主党)

【質問】新知事として、今後4年間の県政運営にどのような思いや姿勢で臨まれるのか、基本的な考え方は。

【答弁】本県の宝である、県民の皆様一人ひとりが、その力を最大限発揮できる県にしていきたい。そのため、「地域経済の基盤をつくる」「地域を元気にする」「未来を担う人材を育てる」の3つの基本的な考えに沿って、現場を重視しながら、「決める、動く、変わる」ことを常に意識し、関係機関と連携して県勢発展に全力を尽くしてまいりたい。

#### 長崎鶴洋高校の入学者の状況と志願者増に向けた取組について

白川 鮎美 (長崎市/改革21)

【質問】水産県長崎で唯一の水産科を有する長崎鶴洋高校では定員割れが続いているが、その状況と志願者を増やすための取組は。

【答弁】長崎鶴洋高校水産科では令和8年度も定員割れの状況が続いているが、実習や水産ドローン、洋上風力発電に使用される海洋ロボットの使用体験など、本県の特性をいかした水産・海洋教育の充実を図るとともに、その魅力を分かりやすく広く発信することで、志願者の増加につなげてまいりたい。

#### 知事選挙における県民一人ひとりの声に対する知事の思いについて

中村 泰輔 (長崎市/改革21)

【質問】県民一人ひとりの声に直接触れ、今の長崎の課題をどう感じられたか。また、知事に就任された今、その思いをどのように県政に反映させていく決意なのか。率直なお考えを。

【答弁】県内各地で県民の皆様に直接対話する中で、将来への不安や物価高騰など、県民一人ひとりの実な課題があることと実感した。今後は、各地域や県民一人ひとりの悩みや課題に寄り添えるよう、できる限りきめ細かな施策を推進してまいりたい。

#### 石炭火力発電事業の課題とその対応について

田川 正毅 (西海市/自由民主党)

【質問】松島火力発電所の脱炭素化を図るシナジス松島計画について、物価高等により、スケジュール等の再検討が公表され、地元では不安視している。本計画の確実な実行を県も働きかけていくべきと考えられているか。

【答弁】電源開発によると、今回の再検討は、継続を前提としたもので、松島の現在の雇用も維持する方針。今後とも、国に次世代技術の取組支援を要望するとともに、必要に応じて国や電源開発に対し、市と連携して働きかけてまいりたい。

#### 県振興に対する知事の決意について

山下 博史 (佐世保市・北松浦郡/自由民主党)

【質問】県振興を推進するに当たっては、地域経済の活性化につながる取組に注力していただきたい。地域経済の活性化を実現する県振興に対する平田知事の決意は。

【答弁】今後の県政運営に当たり、3つの政策の方向性を示すこととしており、その第1が「人口が減少する中でも、経済のパイを小さくせず、人口減少に負けない強い経済をつくる」であり、県振興を図るうえでも、地域経済を意識した政策を講じてまいりたい。

### 常任委員会

#### 予算決算委員会 委員長/石本 政弘

【質問】特定有人国境離島地域社会維持推進交付金に、燃油高騰が続いている中、経費増が見込まれるが、それに対応できるよう、国の予算は確保されているか。

【答弁】国の交付金の令和8年度当初予算額は、航空・航空路運賃低廉化に要する経費の増加が見込まれることから、令和7年度当初予算額と比較し、5億円増の55億円が計上されている。しかしながら、今後も燃油高騰の状況が続くと、航空・航空路運賃の値上げが行われる可能性もあるため、状況を注視しながら、予算の確保を国に働きかけてまいりたい。

【主な論議事項】いじめ不登校対策事業費/文化施設行政推進費 等

#### 農水経済委員会 委員長/富岡 孝介

【質問】長崎県水産産業振興基本計画に、海業では、地域の発展が重視される傾向にあるが、漁師が減少している今、儲かる漁業を推進し、新規就業者を獲得するという視点が重要ではないか。

【答弁】漁業の生産性や収益性を高め、漁業従事者の所得を向上させることにより、新規就業者を確保し、本県の水産業の生産規模を維持していくことが重要であると考える。令和8年度からの次期「長崎県水産産業振興基本計画」の基本理念においても、「力強く稼ぐ持続的に成長する水産業と漁村の賑わいづくり」を掲げている。

【主な論議事項】ながさき産業振興プラン2030/長崎県民の森条例の一部を改正する条例 等

#### 観光生活建設委員会 委員長/山村 健志

【質問】長崎県観光振興基本計画に、今後5年間で観光消費額を約600億円増加させる計画であるが、実現させるためにどのような戦略を考えているか。

【答弁】宿泊者数を伸ばすだけではなく、単価増を含め、質を高める必要がある。数を増やす部分では、重点誘客戦略として、エリアやターゲットごとに考え方を示して人を呼び込み、単価増に向けては、商品の価値や魅力を高め、広域周遊を促進することで滞在時間の延長を図ってきたい。また、産業基盤の強化に向けては、満足度を指標に掲げ、観光客だけではなく、働く方や県民の満足度も高めることで、再来訪につながる好循環を目指している。

【主な論議事項】ながさきピース文化祭2025/第5次長崎県男女共同参画基本計画 等

#### 文教厚生委員会 委員長/中村 俊介

【質問】発達障害児の診療体制に、小児科医等に対して研修を実施しているが、これまでの実績は。また、今後どのように取り組んでいくか。

【答弁】今年度84名の医師が申し込み、77名が座学研修を修了された。また、実際の診療に立ち会う臨床研修を48名が修了されており、県では、この48名を「ながさきブルドクター」と認定することとしている。来年度は、「ながさきブルドクター」に対するフォローアップ研修等を予定しており、引き続き、発達障害児の診療体制の充実を図ってまいりたい。

【主な論議事項】教員のなり手不足解消/高校生世代の医療費助成 等

#### 総務委員会 委員長/初手 安幸

【質問】自転車の交通反則通告制度の適用開始に、4月1日から、16歳以上の自転車運転者が対象ということで、高校生も対象となるが、どのような啓発をしているか。高校生についても、厳格に交通反則通告制度を適用するのかが。

【答弁】ホームページにおける周知や、教育庁と連携し、制度内容に関するチラシや動画を各高校に配布したほか、高校生を対象とした街頭キャンペーンを行った。高校生に限らず指導、注意を大前提にしたいが、悪質で危険な自転車の運転者に対しては、交通反則通告制度を適用するため、高校と協力しながら自転車の運転ルールの周知を上げてまいりたい。

【主な論議事項】ながさきDX推進プラン/九州新幹線西九州ルート整備促進 等

### 特別委員会の意見書

#### 成長産業・県土強靱化対策特別委員会 委員長/千住 良治

「成長産業戦略、エネルギー対策、物流対策及び防災対策に関する意見書」において

- 成長産業戦略について、半導体関連産業・航空機関連産業・造船関連産業・洋上風力関連産業の更なる振興、基幹産業振興のための人材育成確保。
- エネルギー対策について、2050年カーボンニュートラルの実現に向けた地域の実情を踏まえた効果的な地球温暖化対策の実施。
- 物流対策について、2024年問題を契機とした人手不足などの課題に対する関係者からの意見への対応策を総括した取組の強化。
- 防災対策について、避難所環境の向上、孤立集落対策、自主防災組織の充実強化、防災タイムラインの策定などの防災対策における市町、防災関係機関、民間、ボランティア団体等の様々な担い手と連携した着実な推進などを要望した。

#### 観光・新幹線対策特別委員会 委員長/初手 安幸

「観光振興対策、国際戦略対策、新幹線・二次交通対策及び空港活性化対策に関する意見書」において

- 観光振興対策について、歴史・文化・自然・食を生かした観光コンテンツ造成と発信によりインバウンドと周遊を促進し、人材育成、国際路線・クルーズ誘致、宿泊整備で消費拡大を図ること。
- 国際戦略対策について、国際友好交流、県産品輸出、外国人材受入等を促進するための戦略的かつ計画的な取組を強化すること。
- 新幹線・二次交通対策について、武雄温泉駅の対面乗換を早期解消し、西九州新幹線の新線フル規格整備を実現し、地方負担軽減、利用促進、直通運行や在来線改善を関係機関と連携し推進・強化を図ること。
- 空港活性化対策について、海外市場動向を踏まえ、関係機関と連携し空港運用時間延長や国際線施設課題を解決し、路線拡充とインバウンド誘致、航空貨物需要拡大を推進すること。

#### 離島・半島地域振興特別委員会 委員長/畑島 晃貴

「離島・半島地域の振興対策に関する意見書」において

- 離島・半島地域振興対策について、ドクターヘリの安定した運航体制の構築、先進事例の共有と外部財源の活用による移住促進、二次離島の住民生活を支える海上交通の維持。
- 有人国境離島法対策について、同法の改正・延長を見据えた支援制度の見直し及び先進技術活用に関する国への要望、雇用機会拡充事業により創出された雇用の場に対する人材確保。
- 離島・半島航空路対策、離島航空路対策について、島原半島と近隣県を結ぶ半島航空路の活性化に向けた取組、離島航空路の安全かつ安定的な運航。
- 関係人口拡大対策について、離島留学制度における支援体制の見直し、離島全体が連携した世界遺産を活用する広域観光戦略の推進などを要望した。

### 常任委員会・議会運営委員会並びに特別委員会等委員名簿

令和8年3月11日現在

| 委員会       | 委員長   | 副委員長  | 委員   |
|-----------|-------|-------|--|
| 総務委員会     | 初手 安幸 | 永安 健次 | 山口 初實 近藤 智昭 大場 博文 山下 博史 赤木 幸仁 本多 泰邦 白川 鮎美 畑島 晃貴 虎島 泰洋      |
| 文教厚生委員会   | 中村 俊介 | 豊庭 敦子 | 堀江ひとみ 川崎 祥司 前田 哲也 中島 浩介 小宮 洋介 松本 洋介 千住 良治 清川 久義 大倉 聡 まさやま和 |
| 観光生活建設委員会 | 山村 健志 | 坂口 慎一 | 田中 愛国 小林 克敏 溝口美英雄 徳永 達也 山田 朋子 宮本 法広 中村 一三 堀 典子 鶴瀬 和博       |

| 委員会     | 委員長   | 副委員長  | 委員   |
|---------|-------|-------|--|
| 農水経済委員会 | 富岡 孝介 | 山本 由夫 | 中山 功 宅島 寿一 坂本 浩 石本 政弘 中村 泰輔 下条 博文 大久保聖太 湊 亮太 田川 正毅               |
| 予算決算委員会 | 石本 政弘 | 豊庭 敦子 | 議長、正副委員長を除く全議員   |
| 議会運営委員会 | 大場 博文 | 白川 鮎美 | 溝口美英雄 川崎 祥司 松本 洋介 山本 由夫 坂本 浩 石本 政弘 千住 良治 初手 安幸 山村 健志 まさやま和 永安 健次 |

| 委員会             | 委員長   | 副委員長  | 委員  |
|-----------------|-------|-------|---|
| 離島・半島地域振興特別委員会  | 清川 久義 | 山下 博史 | 堀江ひとみ 山田 朋子 近藤 智昭 豊庭 敦子 鶴瀬 和博 本多 泰邦 大久保聖太 畑島 晃貴             |
| 観光・新幹線対策特別委員会   | 赤木 幸仁 | 中島 浩介 | 田中 愛国 小林 克敏 徳永 達也 小宮 洋介 大倉 聡 富岡 孝介 湊 亮太                     |
| 成長産業戦略特別委員会     | 坂口 慎一 | 宮本 法広 | 中山 功 前田 哲也 宅島 寿一 中村 泰輔 下条 博文 中村 俊介 虎島 泰洋 田川 正毅              |
| 県議会議員定数等調査特別委員会 | 山本 由夫 | 豊庭 敦子 | 川崎 祥司 宅島 寿一 近藤 智昭 中村 一三 山下 博史 中村 泰輔 坂口 慎一 鶴瀬 和博 大久保聖太 富岡 孝介 |

#### 長崎県議会でも「いじめ反対」の意思表示!

定例会開会日の3月11日、県議会ではピンクシャツデーの一斉啓発日として、議員・理事者ともにピンク色の物を着用し、いじめ反対の意思表示を行いました。

ピンクシャツデーとは  
カナダの高校生から始まった取組で、ピンク色の小物を身に付け、いじめ反対の意思表示をするものです。

#### 県議会が「緑の募金」街頭募金活動を実施しました!

3月18日に「緑の募金」街頭募金活動を浜町アーケードで実施いたしました。当日は、34名の県議会議員が参加し、街頭で募金への協力を呼びかけました。皆様からお寄せいただいた募金額53,365円については、公益社団法人長崎県緑化推進協会へお届けいたしました。皆様の温かいお気持ちに心より感謝いたします。ご協力ありがとうございました。

#### お知らせ

動画配信 本会議・委員会の中継・録画配信を行っています。一般質問の表題横の二次元コードから各議員の一般質問の録画にアクセスできます。

ホームページ会議録 会議録全文を掲載しています。  
○平成8年2月～令和7年11月定例会の本会議、常任委員会  
○平成24年4月～令和8年1月分の特別委員会  
○本会議・委員会は、原則として誰でも傍聴できます。 長崎県議会 検索

公式SNS 県議会公式SNSはこちら

次回定例会 次回の定例会は、令和8年6月15日に開会予定です。

テレビ放送 「県議会レポート」 令和8年4月25日(土) 13:30～14:00 NCC長崎文化放送 5ch